



懐かしい給食、いかがだったでしょうか… ～地域の方をお招きして交流給食を行いました～

給食委員会は「地域の方と給食を取りながら、常盤中学校のことをもっと知ってほしい」という願いから、10月24日(水)に地域の方をお招きして交流給食を実施しました。この日は、22名の地域の方に参加頂き、各教室で給食を楽しみました。メニューは和食でした。地域の方々からいただいた感想を紹介します。

【給食の感想】

- バランスの良い食事で、おいしかったです。
- 地元の食材を使っているのを知りました。おいしくいただきました。
- 量もちょうど良く味も丁度良かったです。懐かしい気持ちになる素朴な味付けでした。

【学級・学校の印象】

- 初めての取り組みということでしたが、生徒が緊張しながらも頑張っていました。
- 何十年ぶりかの給食を生徒さんと一緒にいただけ嬉しかったです。
- こうした計画を立ててくださった給食委員会の皆さんに感謝します。

この日を迎えるにあたって、給食委員会では各クラスで招待する方の名札やランチョンマット、箸置きを手作りしました。名札にはお名前だけでなく、季節のイラストが描かれ、地域の方に喜んでいただきたいという願いが込められていました。

皆様から、心温まる感想を頂き、生徒も地域の中で生活していることを実感できたひと時でした。



創立 70 周年記念樹として桜「一葉」を植樹しました



*生徒には校長講話で学校長より話をしました。
なお、週末の須坂新聞にこの様子が掲載されますのでご覧ください。

創立 70 周年を記念し、奥田神社より叡譜(じゃくふ)の桜「一葉(いちよう)」10本を常盤中学校 PTA に寄贈いただき、11月2日(金)にカモシカ広場に植樹しました。植樹式には、奥田神社関係者、PTA 正副会長、学校関係者、校友会長、正副緑化委員長が出席しました。「一葉」は、須坂藩 13 代藩主堀直虎が、父堀直格所蔵の桜花図本を写本し、編纂した桜の図譜に描かれている桜です。この度、縁あって本校の創立 70 周年を記念し、奥田神社より寄贈いただきました。

まだ、細く、小さな苗木ではありますが、地域の皆様、卒業生に見守られ、いつの日か美しい花を咲かせることを楽しみに育てて行きたいと思えます。